

2013年日本陽電子科学会奨励賞選考結果報告

日本陽電子科学会会長 白井 泰治

2013年本会奨励賞が下記のように決定されましたことをご報告いたします。

受賞者: 和田 健 (高エネルギー加速器研究機構)

題 目: KEK 低速陽電子実験施設における低速陽電子ビーム強度の向上

理 由:

和田氏は、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 低速陽電子実験施設において、直線加速器/コンバーターで得られる高エネルギー陽電子を低速陽電子に変換するための減速材の構造・配置および熱処理条件を最適化し、同施設で得られる低速陽電子ビームの強度を一桁以上向上させました。また、ビーム強度の向上とともに、新規ビームラインの構築、ビーム調整システムの改善を行い、共同利用施設における KEK 低速陽電子実験施設の高度化と効率化を達成しました。これにより、低速陽電子ビームを用いた反射高速陽電子回折 (RHEPD) やポジトロニウム負イオンに関する研究の新たな展開が可能になるとともに、今後、同氏を中心とした低速陽電子回折 (LEPD) などの新規テーマの発展が大いに期待できます。また、同氏が以前から行ってきた気体中のポジトロニウムの消滅率やナノ空孔中のピックアップ消滅寿命に関する研究の一層の進展も期待されます。以上の理由により、同氏の「KEK 低速陽電子実験施設における低速陽電子ビーム強度の向

上」は、日本陽電子科学会奨励賞にふさわしいものであるとの結論に至りました。今後、日本陽電子科学会奨励賞受賞者として、陽電子科学の発展のために一層貢献していただくことを期待します。



写真: 授与式 (左: 白井会長, 右: 和田氏)

(参考) 選考過程

白井泰治会長により小林慶規氏が選考委員会委員長に任命され、委員長が任命した4名の選考委員からなる選考委員会が設置された。選考委員会は、期日までに推薦のあった候補者について、推薦書類に基づいて慎重に審議を行い、上記一名を奨励賞候補者として理事会に報告した。2013年7月4日の理事会において、審議の後、奨励賞授賞が決定された。